

地球と財布にやさしい エコドライブに 取り組もう。



最近、ニュースや新聞などで耳にする「エコドライブ」。町民の皆さんにとって、自動車は日常生活に必要な存在。でも、実際にエコドライブの中身を知っている方は意外に少ないかもしれません。そんなエコドライブの中身を紹介します。

エコドライブって何？

自動車使用により地球温暖化の原因とされる二酸化炭素(CO₂)が排出されます。そのCO₂の量は平成13年(2001年)から減少傾向にあります。しかし、削減には自動車の省エネルギーが重要になります。エコドライブを実践すれば、地球温暖化対策につながります。

まずは自動車の燃費を知ろう

燃費は一般的に、1リットルの燃料で何km走行できるかを示す「km/L」で示されます。

燃費(km/L) = 距離(km) ÷ 給油量(L)

例えば、広野町役場から約200km(距離)はなれた埼玉県三郷市まで10L(給油量)で走行した場合の燃費は、先ほどに式にあてはめると

$$200 \text{ km} \div 10 \text{ L} = 20 \text{ km/L}$$

よって、燃費は20km/Lとなります。このように、簡単に計算できるので、ぜひ一度チェックしてみてください。その際には「満タン法」がわかりやすいです。

※満タン法 給油時に満タンにして、トリップメーターをリセットする。次の給油時再び満タンにして、この時の給油量とトリップメーターの走行距離から計算する。

8 タイヤの空気圧をこまめにチェック(図参照)

タイヤの空気圧が適正値より不足すると、こぼりが抵抗が増え、燃費が悪化します。指定空気圧は運転席ドアまわりに添付されているラベルで確認できます。

9 不要な荷物は積まずに走行

110kgの不要な荷物を載せて走ると、3.4%程度燃費が悪化します。車の燃費は荷物の重さに敏感です。必要のない荷物は車からおろしましょう。

10 駐車場所に注意

違法駐車は交通渋滞などを招き、交通事故が起きる原因となりますのでやめましょう。

このように、エコドライブの実践がCO₂排出量削減につながり、燃費向上で財布にもやさしくなります。無理をせずに心地よい自動車運転を楽しんでみてはいかがでしょうか。また、福島県では「福島エコドライブ推進キャンペーン」期間を設け、エコドライブの普及啓発をおこなっています。町民の皆さん、企業の皆さん、ぜひ取り組みに参加してみませんか？

- 参考文献・参考資料
- 省エネルギー普及のための人材研修テキスト
- エコドライブ普及推進協議会ホームページ「エコドライブのすすめ」
- 日本大百科全書(小学館)

さっそく、実践 エコドライブ

※エコドライブ普及推進協議会では、「エコドライブ10のすすめ」という10項目の基本行動を示しています。それに沿って、エコドライブの中身を確認していきましょう。

※エコドライブ普及推進協議会 自動車・交通各関係団体から組織された協議会

1 ふんわりアクセル「eスタート」

適度な発進を心がけるだけで(発進時に5秒で時速20kmが目安)11%程度燃費が改善されます。やさしいアクセル操作は安全運転にも

2 加減速の少ない運転

つながらり、心と時間に余裕が持てます。車間距離に余裕を持つことが大切です。急な速度変更を抑えることで3.4%程度の燃費消費が少なくなり、安全運転に心がけましょう。

3 早めのアクセルオフ

エンジンプレーキを使うと燃料の供給が停止(燃料カット)されるので、2%程度燃費が改善されます。停止位置がわかったらアクセルから足を離して、エンジンプレーキで減速しましょう。

4 エアコンの使用を控える

気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょう。カーエアコンはエンジンのパワーで作動します。エアコンを上手に使うことは、燃費の改善につながります。

5 アイドリングストップ

車が停止してもエンジンは回り続けて燃料を消費するアイドリング。10分間のアイドリングで130cc程度の燃費を浪費します。できるときはアイドリングをやめましょう。

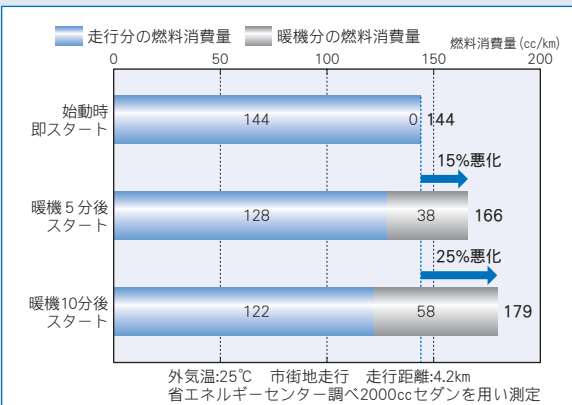
6 暖機運転は適切に(図参照)

エンジンをかけたらずぐ出発しましょう。現在販売されているガソリン乗用車においては、暖機不要です。(*2) LPG自動車は暖機が必要。ガソリン車でも極端な低温や何日間も車を放置したような場合は始動後10数秒待ってから発進する。走りながら暖めるウォーミングアップ走行で十分です。

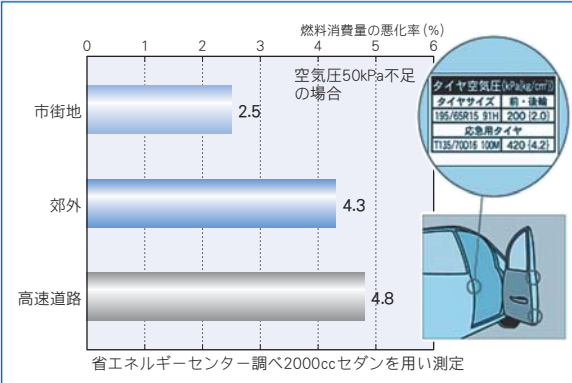
※1暖機 機械を始動した直後などに低負荷での運転を一定時間行うことをいう。
※2LPG自動車 プロパンなどの液化石油ガスを燃料として走る自動車

7 道路交通情報の活用

出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害などの情報をチェックしましょう。地図やラジオ、カーナビなどを利用して、行き先や走行ルートをあらかじめ計画準備することで道に迷うことなく走行できます。



6 暖機運転時間と燃料消費量の悪化状況



8 タイヤ空気圧不足による燃料消費量の悪化状況
出典: タイヤの空気圧について (財) 省エネルギーセンター